



心配された雨もあがり、気持ちをこめて準備運動。さーやるぞ。七瀬中央小学校

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

地元業者の指名ないが	2
応訴費用に440万円	3
4議会から視察受け入れ	4
組合議会報告	5



御船中学校舎耐震補強・改修工事

地元業者の指名ないが
方向性決め指名した

議会は8月1日、本会議を開いた。議案は御船中学校校舎耐震補強・改修工事の工事請負契約の締結についてと一般会計に628万7,000円を追加する補正予算の2件。2件とも全員賛成で可決した。

工事名

御船中学校校舎耐震補強・改修工事

工事内容

●管理・特別教室棟

(鉄筋コンクリート3階建)

耐震補強・防水・塗装工事

●普通教室

(鉄筋コンクリート3階建)

耐震補強・防水・塗装工事

●渡り廊下 防水・塗装工事

契約金額

8,190万円

契約の相手方

商号 新規建設株式会社

入札の方法

12社による指名競争入札

1社も入っていない。どのような状況でこうなったのか。

木村副町長 内部で協議し、方向性を決めた。担当課で指名業者を選定した。

永山議員 地元に塗装・防水工事業業者も居る。分離発注はできなかったのか。

米満学校教育課長 分離発注の場合設計金額で5%ほどあがる。工期も約1ヶ月ほど延びる。

永山議員 5%伸びる理由は。

米満課長 たとえば足場をブレースのところで組んで、塗装のときまた組んでとなる。

永山議員 分離発注をする場合、工程会議などですべて摺りあわせをやる。合点がいかない。今後は入札や指名の段階で地元業者を条件提示できるように話も必要だ。

福永議員 公平性と地元業者育成を兼ねた入札制度改革を検討しているか。

野口課長 一般競争入札や条件付競争入札を視野に入れた論議が必要。

福永議員 具体的に入札制度改革の計画はないのか。

野口課長 具体的にはない。

山本町長 前回の議会から入札関係にはいろいろ質疑があっているが一般競争入札を少し検討している。非常に悩ましいが、一般競争入札にすれば、地場産業の育成ができないところである。町民のためには金額が少ない方がいいのではないと言われるが。税金ですから。いろいろと複雑に絡んでいるのであらゆる角度から検討する。

一般会計補正

628万7,000円を追加

今城集落に497万円

農林水産業費県補助金が565万6,000円あった。農業者個別所得保障制度に対応した水田地域全体の生産性向上を進めるため、地域の実態に応じた機械・施設等の再編整備による生産組合の育成を目的とした事業に使われる。

吉村議員 今城地区が497万7,000円、八勢地区が67万9,000円とある。具体的な説明を。

藤岡経済振興課長 今城地区はコンバイン1台を購入予定。八勢地区は4条植えの田植機1台を購入予定。2分の1補助。

吉村議員 この営農組合は以前からあったものか。

藤岡課長 両地区ともこの事業を取り組むため集落営農組合を新たに立ち上げたもの。機械の共同利用により作業の効率化と低コスト化を図る。

吉村議員 他の集落も営農組織を作れば補助対象になるか。

藤岡課長 今年1年の補助だが来年度も計画はあるようだ。生産組合の組織化が第一だ。

吉村議員 このような補助制度があることの周知が必要だ。



耐震補強・改修工事が進む御船中学校

一般会計補正

住民訴訟の応訴費用に440万円

議会は8月17日、本会議を開いた。議題は「町道横断側溝の破損による車両事故の賠償」の専決処分の報告。「寄付金税額控除の適用」など町税条例の一部を改正するもの及び474万8,000円を追加する一般会計補正予算第8号。

福祉目的NPO法人への
寄付に税優遇

現在の厳しい経済情勢や雇用情勢に対して税制の整備を図るため地方税法等の一部を改正するもの。

今回の改正は住民税をはじめ固定資産税、軽自動車税、たばこ税等々に及んでいる。主なものは住民税関係で寄付金税額控除で国税庁が認定したNPO法人に対する寄付金と限定していたものを福祉の増進に寄与するNPO法人も新たに追加され、適用下限額を5,000円から2,000円に引き下げるものなど。

弁護士費用の基準は？

企業誘致係の委託料440万円。今回の委託料は住民監査請求を受けて、住民訴訟になった場合、被告人は御船町長となり、受けて立つ側の応訴

で町の負担となる。

清水議員 440万円の算出基準はなにか。

野口企画財政課長 損害賠償履行請求事件で、この訴訟物の価格は、通常住民訴訟。町に損害を与えた職員、あるいは首長なりを町は訴訟しなさいとなっている。弁護士費用の基準はあるが、弁護士の裁量の範中での算定。

福永議員 今回上程された440万円は訴訟告知された山本孝二氏個人の弁護人ではなく町の代理人ということでしょうか。

野口課長 裁判所からの答弁書催告状に被告は「御船町長 山本孝二」と明記されているので、町が応訴するという意味に解釈している。

福永議員 弁護士費用の基準を決めるとき旧日弁連基準が必要。他町村の実例をいくつか見ても算定根拠が不明確。

野口課長 日弁連の基準を採用されていると言われたが一般的にかなり高額になるという事で弁護士に裁量の幅を持たせてあると聞いている。

佐藤議員 今回の損害賠償履行請求事件は仕事をした「職員または長などの個人が被告人となる」部分について、平成14年の自治法改正により、仕事上起きたことが原因である

ので「執行部が被告人となる」という事は間違いはないか。

野口課長 結論から言うと間違いはない。

佐藤議員 職員として町の仕事をやる中において職員個人の責任を追及されると職員の勤務意欲が損なわれるという面もある。しっかりとした弁護人を立てるべきだ。

野口課長 熊本地裁の1審は2～3年かかるだろう。敗訴した側が控訴するかどうかなど分からない。

蓋がはずれ車に傷
八勢釜出線で

事故の概要は7月16日午後3時頃、町道八勢釜出線を走行中の車が道路横断側溝のグレーチング蓋を跳ね上げ、車に損傷を与えたもの。示談で解決した。損害賠償額は347,370円。一般会計に追加補正した。



道路横断側溝のグレーチング蓋

8月の議会の動き

- 1日 議会
- 2日 佐賀県嬉野市議会・宮崎県日之影町議会視察受入れ
- 9日 九州横断自動車道延岡線提言活動
兵庫県篠山市議会視察受入れ・広報常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 九州横断自動車道延岡線総決起大会
広報常任委員会
- 17日 議会・全員協議会
- 19日 正副議長研修会・消防組合議会・広報常任委員会
- 22日 議会報告会
- 23日 議会報告会・上益城中央地区中山間協議会総会
- 24日 議会報告会・議会改革推進特別委員会
- 25日 議会報告会
- 26日 福岡県添田町議会視察受入れ・広域連合議会
- 30日 議会運営委員会・小川御船間道路期成会総会

平成23年度第7回御船町議会定例会（8月議会）議案に対する賛否

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	塚本	山田	増田	福永	田上	永山	藤川	池田	田端	清水	田中	沖	佐藤	吉村	井本	岩田
議案17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
起案18	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	—

全員協議会報告

8月17日開いた。

町長の報告

8月1日付けで人事異動をおこなった。

野口総務課長を企画財政課長へ。竹下企画財政課長を総務課長に任命した。

報告及び協議事項

議会当日になって執行部より竹バイオマス住民訴訟に対する応訴弁護士費用440万円について報告があった。

各議員より協議する時間も無い。これでは、議会軽視も甚だしいとの意見がでた。

今後このような事がないように執行部に申し入れることとした。

議会運営委員会報告

委員長 田中 隆敏

8月11日、8月17日開催の議会の議案、日程について審議を行った。

8月30日に9月決算議会の議案、日程について審議をおこなった。条例案、補正予算の他決算認定9件、請願1件及び陳情2件。一般質問は7名の議員より通告を受けた。日程は8日間とした。

議会報告会の取りまとめを9月5日全員協議会にて行うように決定した。

添田町議会

議会報告会へ参加

福岡県添田町議会視察受け入れ

8月25日（木）午後7時30分から開いた議会報告会（カルチャーセンター）に参加された。翌26日（金）に議会活性化の取り組みについて視察を受け、議会運営委員会が対応した。

報告会のあり方や、町民からの意見の取り扱いなど活発に意見交換を行った。

また、本町より早く光

ファイバー網の導入に取り組まれている添田町の現状について話をいただいた。町主催のパソコン教室を公民館などを利用してきめ細かく行われているようだ。参考にしていきたい。



福岡県添田町議会 議会のあり方を考える特別委員会

広報毎月発行の反響は!!

8月9日（火）に兵庫県篠山市議会より視察を受けた。今回の視察研修は議会だよりの毎月発行の取り組みを中心に行い、「あおぞら」の企画、仕様、印刷経費、配付日、配付方法、発行スケジュール、掲載内容、役割分担や編集会議の内容について活発な意見交換を行った。質問として毎月発行になったことによる、住民の反応、賛否公開、一般質問者の写真の掲載などがあがった。篠山市議会からの指導助言として個人的誌面にならないような対応、写真掲載の善し悪しなどを受けた。最後は議会基本条例や通年議会についての意見交換も行われお互いに勉強になった視察であった。



兵庫県篠山市議会 議会広報編集特別委員会

佐賀県嬉野市議会 宮崎県日之影町議会 視察受け入れ

8月2日（火）、議会活性化の取り組みについて、議会運営委員会が対応した。

通年議会のメリット・デメリットや効果はどうかの質問があり、請願・陳情などの早急な審議を行い町民の負託に込めていると説明した。

また、常任委員会の活動などの説明を行った。

組合議会報告

上益城広域連合議会を開く

組合議員 岩田重成

組合議員 塚本勝紀

8月26日(金)午前10時から平成23年第2回上益城広域連合議会定例会が開催された。熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更についての専決処分の報告と承認がなされた。また、平成22年度の一般会計歳入歳出の決算認定がなされ、歳入総額78,448,000円 歳出予算現額

71,606,000円

歳入歳出差引額

6,842,000円

基金繰入額

4,842,000円

前年度繰越金

2,000,000円

で認定された。



広域連合議会

衛生施設組合議会を開く

組合議員 田中隆俊

組合議員 増田安至

監査委員 佐藤俊明

9月1日(木)午後2時から御船町甲佐町衛生施設組合会議室で、平成23年第2回組合議会定例会が開催された。平成22年度の一般会計歳入歳出決算について、組合長の奥名克美甲佐町長より説明がなされ、続いて事務局からの説明、監査報告があった。認定した。また、同日午後4時からは宇城広域連合の火葬場の視察研修があった。場所は宇城広域連合龍燈苑で本年4月に建て替えられ

た非常に新しい施設だった。当衛生施設組合は、施設の老朽化した現状

と課題について多くの宿題を抱えることになった。



新築された龍燈苑(宇城市広域連合)

上益城消防組合議会を開く

組合議員 塚本勝紀

組合議員 山田五郎

8月19日(金)に行われた。

議案の内容は議案第8号、平成22年度上益城消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について審議された。

地方自治法第233条第3項の規定

により、平成22年度上益城消防組合一般会計歳入歳出決算書を別冊のとおりに提出され、歳入総額706,242,000円、歳出総額698,361,000円、歳入歳出差引残額7,881,000円、実質収支額7,881,000円、98.88%で執行され認定された。

議案第9号、一般会計補正予算で第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,023,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ770,608,000円となり、可決された。

議案第10号、上益城消防組合監査委員(識見を有する者)の選任に付き同意を求めることについて審議され、全会一致で再任された。



待機中(上益城消防署)



議会へ一町民からの嘆願

最近の議会を傍聴したり、人の噂を聞いたり、議会広報誌「あおぞら」に目を通しますと明るい話題が見受けられません。

行政の痛いところを突いたり、一人の人間を（その人の持つ感情を押し殺し）攻撃することを耳にしますが、人を傷つけたり非難するのは簡単です。

今後、議会も視野を拡げ、暖かい温もりのある気持ちを持って御船町がいかに住みやすい町づくりをするか建設的意見を掲げて集中して欲しいと思います。

①提案ですが企業誘致は行政とも協力し合って努力を。観光面に力を入れ、御船にしかない御船でできる観光について改めて委員を募

り、委員会を立ち上げ検討する。

②行政（各課・各職員）が生き生きと働きやすい職場作りにもアドバイスを。

③「あおぞら会議」をより多く実施し、町民の今考えていることを聞き、理解し、答えられることはきちんと答え、後で調べて答えることは必ず実施して尻切れトンボにならないように。

④議員の行動表（一日）を役場一階へ町民の目の付く場所へ掲示を要望します。（出張、研修、自宅、内部打ち合わせ等）

今回は多くの苦言を呈しましたが、今後機会がありましたら明るい話題を提供したいと考えます。



1丁目
本田 洋一 さん

延岡線早く通して

8月12日九州横断自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起

大会が宮崎県延岡市で、盛大にとり行われた。



宮崎県延岡市内のホテルで開催された総会・決起大会

促進協議会に加盟している市町の議員、地元の国会議員（秘書）関係者が参列し早期実現を目指していくことを確認した。

御船町からは事務局含めて議員9名が参加した。

議会の予定 10月

- 5日 全員協議会
- 12日 福岡県福津市議会・大津町協働の会準備委員会視察受け入れ
- 13日 議会
- 19日 香川県小豆島町議会・新潟県出雲崎町議会視察受け入れ
- 21日 宮崎県児湯郡議長会研修
- 25日 議会運営委員会視察研修（鹿児島市）
- 26日 議会運営委員会視察研修（相良村）
- 27日 埼玉県戸田市議会・石川県津幡町議会視察受け入れ

編集後記

毎月発行となつて1年5ヶ月。毎月毎月、その月の原稿と翌月の原稿づくりに追われている。

議会での発言を要約して記事に起こすことはなかなか難しい。議員も発言内容をまとめたの発言ではなく、考えながらの発言が多い。その一部分を切り取って記事にする「発言の真意と違う」と指摘を受けることも。

また、「何をどうせよ」とか「何がどうなった」だけの報告に、「なぜそう考えるか」を加えるかどうかどうして文章が長くなる。

まず、手に取って、読んでもらう。そして少しでも考えてもらう。発言の真意が伝わるよう今日もまた、広報委員一同東奔西走している。

（佐藤 俊明）

議会広報編集常任委員会

委員長	岩田 重成
委員	田上 忍
委員	山田 五郎
委員	佐藤 俊明
委員	田中 隆敏
委員	永山 和人
委員	増田 安至